

第8回アジアシクロデキストリンカンファレンス/第32回シクロデキストリンシンポジウム合同会議開催のご報告

この度、第8回アジアシクロデキストリンカンファレンス/第32回シクロデキストリンシンポジウム合同会議が、2015年5月14日～16日、くまもと県民交流館パレアにて開催致しました。本合同会議では、シクロデキストリン研究のパラダイムシフトとして、難治性遺伝病、がん、ワクチンアジュバントへの応用に関する研究成果を、医師ならびに新進気鋭の研究者の先生方よりご講演頂きました。さらに、教育講演、特別講演、若手研究者セッション、学生セッションを設け、口頭またはポスター発表を実施した。本会の参加者数は、大学、企業関係者を含め、総勢204名（外国人約40名、主要国：中国、タイ、韓国、シンガポール、マレーシア、フランス、ドイツ、ハンガリー、イギリス、アメリカ）となり、活発な討論がなされました。以下に内容を報告いたします。

学会初日には、特別講演として、上釜兼人先生(熊本大学名誉教授)よりシクロデキストリンを基盤としたスーパージェネリック医薬品製剤に関する講演がなされました。また、教育講演として服部憲治郎先生(ナノデクックス株式会社)より、抗がん剤のアクティブターゲティングに関する発表がなされました。特別セッションでは、シクロデキストリン自体をAPIとして応用することを主眼においた研究発表がなされました。木村晋也先生(佐賀大学)および本山敬一先生(熊本大学)は、シクロデキストリン誘導体をがん治療薬として応用することを目的に、最新の知見を報告されました。さらに、入江徹美先生(熊本大学)より小児の難治性脂質蓄積病であるニーマンピック病C型に対する治療薬として、ヒドロキシプロピル化シクロデキストリンの有用性評価について報告され、橋渡し研究として大変貴重な内容でありました。シクロデキストリンを基盤分子とした家族性アミロイドーシスに対する治療薬(城野博史先生、熊本大学)、インフルエンザワクチンのアジュバントとしてのヒドロキシプロピル化シクロデキストリンの応用(石井健先生、医薬基盤研究所)、抗生剤としてのシクロデキストリンの可能性評価に関する報告(山村初雄先生、名古屋工業大学)も行われ、まさにシクロデキストリン研究のパラダイムシフトを実感することができました。

招待講演では、原田明先生(大阪大学)、高橋圭子先生(東京工芸大学)、Won Jong Kim 先生(Pohang 大学、韓国)、伊藤耕三先生(東京大学)、Piamsook Pongsawasdi 先生(Chulalongkorn 大学、タイ)、Wenting Liang 先生(Shanxi 大学、中国)、池田宰先生(宇都宮大学)、Yu Liu 先生(Nankai 大学、中国)、北岸宏亮先生(同志社大学)、Jun Li 先生(Singapore 国立大学、シンガポール)の先生にご講演頂きました。シクロデキストリンの超分子複合体や環動ゲルを用いた新規バイオマテリアルに関する研究、薬物デリバリー技術への応用研究、細胞センシングなど基礎から応用まで多岐にわたるエキサイティングな講演ばかりでありました。今回、新たな試みとして、新進気鋭の研究者による若手研究者セッション、さらに、学生の口頭発表の機会を増やすべく学生セッションを設けました。国内外の若手研究者(7名)および学生(7名)から最新のシクロデキストリン研究を報告いただき、会場内からも活発な討論が展開されました。

今回の合同会議の開催に際しまして、日本化学会、日本薬学会、日本薬剤学会、日本農芸化学会、日本分析化学会、日本糖質学会、日本応用糖質科学会、日本素材物性学会、高分子学会より共催・協賛のご協力を頂きました。また、以下にご紹介させていただきます関連団体および企業の皆様より多大なご支援を頂戴し、本シンポジウムを開催できましたことを申し添えるとともに、心より感謝申し上げます。永井記念薬学研究奨励財団、熊本大学、熊本大学拠点形成研究 B、熊本大学薬学部同窓会、熊本国際観光コンベンション協会、日本シクロデキストリン工業会、塩水港精糖株式会社、株式会社シクロケム、Wacker Chemie AG、CTD Holdings, Inc.、日本食品化工株式会社、第一三共株式会社、小野薬品工業株式会社、千寿製薬株式会社、湧永製薬株式会社、レニショー株式会社、株式会社ファンケル、ナガセ医薬品株式会社、有限会社新成化学、株式会社ハートフェルト、株式会社八尾日進堂、株式会社ネクスト、堤化学株式会社、正晃株式会社（順不同）。

本合同会議は、シクロデキストリン研究の医・薬・工の連携をテーマに充実した内容のプログラムで進められ、「温故知新」を提供できたものと考えております。次回、9th Asian Cyclodextrin Conference は、Jun Li 先生がオーガナイザーとなり、シンガポールにて開催予定であります。また、第 33 回シクロデキストリンシンポジウムは、香川大学の吉井英文先生が実行委員長となり、平成 28 年 9 月 8～9 日に高松サンポートにて開催予定であります。最後になりましたが、本合同会議全般にわたり、懇切丁寧にご指導頂きました現会長の高橋圭子先生に心より感謝申し上げます。また、シンポジウムの準備から当日の運営などご協力頂いた実行委員の先生方ならびに学生の皆様に感謝申し上げます。

第 8 回アジアシクロデキストリンカンファレンス/
第 32 回シクロデキストリンシンポジウム合同会議実行委員会
実行委員長 有馬英俊
(熊本大学大学院生命科学研究部 製剤設計学分野 教授)